

## 音楽祭についての生徒の意識

牛 田 英 一

# 音楽祭についての生徒の意識

牛 田 英 一

## § 1. 音楽祭の推移

我が校の音楽祭も本年（昭和52年）で25回を迎えた。音楽祭という名称にもかかわらず、その内容は、各クラスの合唱コンクールである。指揮者は勿論、伴奏者、時には編曲者も生徒がこれに当って運営されてきた。そしてその目的としては

1. 個人の歌唱力と合唱力の強化
2. クラスの連帯意識の向上

が掲げられ、特に昭和46年には、これらの目的が生徒の討議によって再確認されてきている。

この目的は言うまでもないが、クラスの全員が、練習に進んで参加し、それぞれのパートで全体としてのハーモニーの美しさを醸し出すことによって達成されることはいうまでもない。然し昭和46年に報告したように、生徒の意識の変化に伴い、全員参加という線が、高3という立場にある生徒から崩れ、全員参加か希望参加かという問題が論議された。結論としては全員参加という線に落ち着いたが、実際には高3の不参加者が目立った。一方に、音楽は選択科目であるのに、それをとっていないものにまで参加を強制する事はない、という考え方もあったが、それ故になおさら全員参加で、この機会に歌唱力をつけるのだという考えも当然出てくる。そして兎に角全員参加という建前は維持され、さらに高3も参加者が増し、近年では全員が参加し、コンクールとしても入賞するクラスに高3が多くなってきていた。

なお昭和46年以来、それまで課題曲1曲、自由曲1曲という枠が取り去られ、自由曲のみになって現在にいたっている。

## § 2. 昭和52年の音楽祭の特徴

世の中の移り変わりに若者は敏感なのか、3年ほど前から『鉄人28号』とか『ひょっこりひょうたん島』などや歌謡曲に属するものがプログラムに現れ始めた。これを音楽科教官は『幼稚化した』、といっているが、兎に角従来とは選曲の方向が変化してきた。そして昨年には『おまんたばやし』、というアクションのついた曲が出現した。

それに刺激されたのか、本年はアクションのついた演奏が急増した。次に本年の演奏曲目をクラス別に示し、その中でアクションのついたポピュラー系の曲を1つは演奏したクラスに○をつ

けてみると次のようになる。

- 1-1 エーデルワイス あわて床屋
- 1-2 2人の擲弾兵 会津磐梯山
- 1-3 スカボロフエア 風
- 1-4 歌の翼 けむしが3匹
  
- 2-1 モスクワ郊外の夕べ 筑後川、より 河口、
- 2-2 狩人の合唱 空にはお月様
- 2-3 2人の擲弾兵 カルメン 77、
- 2-4 ワナ・タンザニア アライカ
  
- 3-1 青い山脈 サーフィンU・S・A
- 3-2 Hi Hi Hi 中国地方の子守歌
- 3-3 グリーンスリーブス 碑
- 3-4 兵士の合唱 そばや

以上に見られる様に、高1では全然なく、高2で2クラス、高3では3クラスに及んでおり学年の進行と共に増加していることがわかる。

勿論アクションがつくとともに伴奏楽器もエレキギターなどの電子楽器などが用いられ、極めて賑やかな音楽祭となった。

しかし、外部から招いた合唱の専門家である審査員の方の批評は練習不足が目立ち、見るべきものが少いというものであった。新しい傾向として登場してきた今年の演奏は、専門家には不評だったと考えてよい。

### §3. 生徒自治会でのアンケート調査

このような事態のもとで、生徒部では早速生徒自治会の役員会に働きかけ、

- I 今年の音楽祭について
- II 音楽祭のあるべき姿について

という大項目を設定し、さらにこれを具体化して、アンケート調査を実施してもらった。その結果は、次に示す通りである。

音楽祭についてのアンケート 集計結果とそのよみとり  
有効回答 399 (1年 143 2年 125 3年 128)

I 今年の音楽祭について ( ) 内有効回答に対する百分率

1. 全体をみて

問 1. おもしろかったか

		ア. とてもおもしろい	イ. おもしろい	ウ. つまらない	エ. わからない	無 回 答
1	年	21 (14.7)	55 (38.5)	50 (37.1)	11 (7.7)	5
2	年	23 (18.4)	49 (39.2)	44 (35.2)	9 (7.2)	2
3	年	41 (32.0)	42 (32.8)	35 (27.3)	11 (8.6)	△ 1 <sup>1)</sup>
全	体	85 (21.5)	146 (36.9)	129 (32.6)	31 (7.8)	6

<sup>1)</sup> これは集計ミスによるもの

問 2. (問1でア, とてもおもしろい イ, おもしろいとした人へ) なぜおもしろかったか

		ア. 合唱がよかった	イ. みていてたのしい	ウ. 練習にうちこめた	エ. その他	計	問1ア, イの人	差 引
1	年	21 (25)	53 (62)	7 (9)	4 (5)	85	76	9
2	年	8 (11)	53 (71)	6 (8)	5 (7)	75	72	3
3	年	8 (10)	63 (76)	5 (6)	8 (10)	84	83	1
全	体	37 (15.2)	169 (69.3)	18 (7.3)	17 (7.0)	244	231	13

注) この問はまちがって「複数可」と書くのをわすれたので、一部クラスで2つ以上選んだ人が多かった。このためその分だけ補正するとのべ13人の人が2つ以上選んだことになるが、パーセンテージはそれぞれ85, 75, 84, 244に対する割合で計算した。

問 3. (問1でウ, つまらないとした人へ) なぜつまらなかったか (複数可)

		ア. 合唱がへた	イ. 振りつけ入が多すぎ	ウ. 合唱コンクールだった	エ. 練習にうちこめない	オ. 賞をとれず	カ. その他	全 体
1	年	21 (42)	32 (64)	4 (8)	8 (16)	5 (10)	6 (12)	50人中
2	年	16 (36)	18 (41)	6 (14)	7 (16)	10 (23)	8 (18)	44人中
3	年	15 (43)	13 (37)	3 (9)	4 (11)	8 (23)	7 (20)	35人中
全	体	52 (40.3)	63 (48.8)	13 (10.1)	19 (14.7)	23 (17.8)	21(16.3)	129人中

問 4. 印象に残ったか

		ア. たいへん印象にのこった	イ. 心にのこった	ウ. 心にのこらない	エ. わからない	無 回 答
1	年	16 (11.2)	33 (23.1)	68 (47.6)	19 (13.3)	7
2	年	25 (20.0)	42 (33.6)	44 (35.2)	9 (7.2)	5
3	年	49 (38.2)	33 (25.8)	33 (25.8)	8 (6.3)	5
全	体	90 (22.7)	108 (27.3)	145 (36.6)	36 (9.1)	17

問 5. (問4でア. たいへん印象にのこった イ. 心にのこったとした人へ) なぜ心にのこったと思うか

		ア. 合唱がよかった	イ. みていてたのしい	ウ. 練習にうちこめた	エ. そ の 他	計	問4ア, イの人	差 引
1	年	16 (29)	23 (42)	7 (13)	9 (16)	55	49	6
2	年	6 (9)	34 (45)	11 (15)	16 (21)	75	67	8
3	年	7 (9)	38 (46)	7 (9)	28 (35)	80	82	-2
全	体	29 (13.8)	95 (45.2)	25 (11.9)	53 (25.2)	210	198	12

注) 問2と同様パーセンテージは55, 75, 80, 210に対する割合

問 6. (問4でウ. 心にのこらないとした人へ) なぜ心にのこらなかったと思うか(複数可)

	ア. 合唱がへた	イ. 振りつけ入が多すぎ	ウ. 漠然とおわった	エ. 例年とかわらず	オ. 練習不足	カ. その他	全 体
1 年	30 (44)	30 (44)	34 (50)	5 (7)	25 (37)	6 (9)	68人中
2 年	11 (25)	9 (20)	24 (55)	6 (14)	11 (25)	6 (14)	44人中
3 年	12 (36)	7 (21)	11 (33)	2 (6)	10 (30)	4 (12)	33人中
全 体	53 (36.6)	46 (31.7)	69 (47.5)	13 (9.0)	46 (31.7)	16(11.0)	145人中

〔表のよみとり〕

問1～6は今年の音楽祭から感じたことをあげてもらったものです。「おもしろかった」という事は、会場におけるおもしろみであり、「印象にのこった」というのは、その学校生活の中における意味あいであると思います。単に会場でおもしろかったからよいというだけでなく、行事を学校生活の中の重要な一面としてとらえたとき、それがあとあとまで「よかったなあ」と心にのこることがそれにもまして大事だと思えます。

前おきはやめて、問では半分以上(58%)が「とてもおもしろい」あるいは「おもしろい」と回答しています。そしておもしろかったのは問2によると、みていてたのしかった、という人が%以上しめています。したがって今年の音楽祭は、「振りつけなどがはいてみていてたのしかった」から「おもしろかった」という事になります。しかし一部の人はそれに対して問3からわかるように「振りつけがはいたものが多すぎて」又「合唱がへただったから」「つまらなかった」と回答しています。例年のような合唱を期待していた人にとっては、期待はずれだったという事です。

また学年別にみますと、1年から3年になるにしたがって「みていてたのしかったのでおもしろかった」派の方が「振りつけ入が多すぎつまらなかった」派に対し、ますます多くなっているのがわかります。

次に印象度をみてみると、「たいへん印象にのこった」「心にのこった」「心にのこった」と問4で答えた人が、50%、問1のおもしろかった人にくらべてへり、逆に「心にのこらなかった」人が37%と、「つまらなかった」人32%にくらべふえています。「印象にのこった」人ではやはり「みていてたのしい」と答えた人が多く、また3年生ではその他が多くなっていますが、おそらく「ヤメロ節をできた」という人たちでしょう。それに対し「心にのこらなかった」理由としては「合唱がへた」「漠然とおわった」とする人が多いようです。学年別にみると、1年は心にのこった：のこらないがそれぞれ34%、48%なのに対し、3年は63%、25%と、学年が上がるにつれ心にのこったとした人がふえています。

## 2. 各クラス別

問 7. あなたのクラスでは、クラスの団結を高める上で、音楽祭は役立ったか

ク ラ ス	1—1				2—1				3—1			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
ア. 役立った	8	1	10	7	10	7	7	11	13	20	17	7
イ. 少しは役立っただろう	22	21	16	20	26	17	16	10	10	8	11	7
ウ. 役立たない	9	11	4	8	4	6	6	2	6	2	2	10
無 回 答	2	4	1	△1	0	1	0	2	1	3	0	11
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

※ 問7～13における△はマイナスを意味する。無回答は{有効回答—(ア+イ+ウ)}で求めたため、集計ミスでア、イ、ウが多くなっているとき無回答が負となってしまった。

問 8. あなたのクラスでは練習のとりくみ具合はどうだったか

ク ラ ス	1-1	2	3	4	2-1	2	3	4	3-1	2	3	4
ア. クラス全体で一生けんめい	5	4	10	5	15	9	12	12	11	20	16	2
イ. 一部の人ががんばる	32	28	17	24	24	19	16	11	14	11	13	27
ウ. ほとんどの人がやる気なし	1	1	3	5	1	3	2	1	2	0	1	5
無 回 答	3	4	1	0	0	0	△1	1	3	2	0	1
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

問 9. あなたのクラスでは練習開始はどうだったか

ク ラ ス	1-1	2	3	4	2-1	2	3	4	3-1	2	3	4
ア. 十分はやかった	1	2	16	0	1	4	2	1	7	3	22	1
イ. 例年と同じくらい	9	6	7	3	11	17	11	11	13	15	5	8
ウ. おそすぎた	30	25	8	30	28	11	17	12	9	14	3	26
無 回 答	1	4	0	1	0	1	△1	1	1	1	0	0
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

問 10. あなたのクラスでは練習量は どうだったか

ク ラ ス	1-1	2	3	4	2-1	2	3	4	3-1	2	3	4
ア. 十分多い	1	4	4	2	2	3	2	4	6	9	16	2
イ. ある程度はやった	10	9	12	11	16	19	15	17	17	19	7	8
ウ. たりない	28	20	14	21	22	9	11	3	10	4	7	25
無 回 答	2	4	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

問 11. あなたはあなたのクラスでの選曲に満足か

ク ラ ス	1-1	2	3	4	2-1	2	3	4	3-1	2	3	4
ア. 2曲とも満足	10	17	15	12	14	12	12	13	15	18	14	10
イ. 2曲とも不満	20	9	9	12	7	7	3	6	7	3	5	8
ウ. 1曲はよかった	10	8	5	9	18	12	13	5	5	10	11	17
無 回 答	1	3	2	1	1	0	1	1	3	2	0	0
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

問 12. あなたは練習にどういう気持で参加したか

ク ラ ス	1-1	2	3	4	2-1	2	3	4	3-1	2	3	4
ア. 一生けんめいとりにくみたい	25	20	19	17	23	20	18	14	21	28	23	18
イ. 義務だからしかたない	14	10	8	12	15	9	7	7	3	5	5	10
ウ. どうでもいい, 関係ない	3	3	2	0	1	1	3	3	2	1	3	5
無 回 答	△1	4	2	5	1	1	1	1	4	△1	△1	2
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

問 13. あなたは練習にまじめに参加しましたか

ク ラ ス	1-1				2-1				3-1			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
ア. まじめにした	18	23	16	18	22	12	15	16	18	20	20	14
イ. ある程度は参加	21	7	10	8	16	12	11	7	7	10	5	16
ウ. まじめではなかった	2	3	3	5	2	5	3	1	3	2	3	5
無 回 答	0	4	2	3	0	2	0	1	2	1	2	0
計	41	37	31	34	40	31	29	25	30	33	30	35

〔表のよみとり〕

これは各クラスごとに練習のようすをしらべてみる上での設問です。

- 問7 音楽祭がクラスの団結に役立ったか……多くのクラスが「少しは役だった」と考える人が多い。その中で2-4, 3-1, 3-2は「役立った」と考える割合が多い。
- 問8 練習へのとりくみ……全体では「一部の人はがんばった」と考える人が多いが, 2, 3年生では「一生けんめいだった」とみる人がふえている。特に2-4, 3-2, 3-3。
- 問9 練習開始 C おそすぎた 1-1, 1-2, 1-4, 2-1, 2-3, 3-4。  
B 例年なみ 2-2, 2-4, 3-1, 3-2。  
A 十分はやい 1-3, 3-3。
- 問10 練習量 C たりない 1-1, 1-2, 1-4, 2-1, 3-4。  
B ある程度はやった 1-3, 2-2, 2-3, 2-4, 3-1, 3-2。  
A 十分多い 3-3。
- 問11 選曲満足度 A  $A > I + U$  2曲とも満足 1-3, 2-4, 3-1, 3-2。  
B Aが一番多くA以外 2曲にほぼ満足 1-2, 1-4, 2-2, 3-3。  
C Uが一番多い 1曲はよかった 2-1, 2-3, 3-4。  
D  $I \leq A + U$  2曲とも不満 1-1。(2-2はAU同数のBにいった)
- 問12 練習参加意識 どのクラスも「一生けんめいとりくみたい」という人が多い。3-4以外の3年は1・2年生にくらべAの割合がかなり多い。1・2年生のうちAの割合が他にくらべ多いのは1-3, 2-2, 2-3, イウがやや多いのは1-1, 2-1, 2-4。
- 問13 練習貢献度 これもどのクラスでもほぼ「まじめ」の人が多い。学年での違いはあまりみられない。特にまじめとみられるのは 1-2, 1-4, 2-4, 3-1, 3-3, まじめが多いのは 1-3, 2-1, 2-3, 3-2。

3. 去年とくらべて ( ) 内有効回答に対する百分率

問 14.

ア. 「今年の練習へのとりくみは不十分だ」の意見に対する同意者数

1 年	143人中	84人 (58.7%)
2 年	125人中	53人 (42.4%)
3 年	128人中	58人 (45.3%)
全 体	396人中	195人 (49.2%)

イ. 「振りつけをいれた曲が多かった」の意見に対する同意者数

1 年	143人中	65人 (45.5%)
2 年	125人中	67人 (53.6%)
3 年	128人中	69人 (53.9%)
全 体	396人中	201人 (50.2%)

ウ. 「今年は音楽祭がショー的であった」の意見に対する同意者数

1 年	143人中	72人 (50.3%)
2 年	125人中	23人 (66.4%)
3 年	128人中	77人 (60.2%)
全体	396人中	232人 (58.6%)

エ. 「あたらしい傾向の選曲がふえた」の意見に対する同意者数

1 年	143人中	45人 (31.5%)
2 年	125人中	61人 (48.8%)
3 年	122人中	80人 (62.5%)
全体	396人中	186人 (47.0%)

問 15. 「今年は練習不足である」といわれてどう思うか

		ア. もっともでありもっと練習する必要があった	イ. もっともだがしかなかった	ウ. そんなことはない	エ. わからない	無回答	計
1	年	83 (58.0)	37 (25.9)	7 (4.9)	9 (6.3)	7	143
2	年	60 (48.0)	43 (34.4)	16 (12.8)	6 (4.8)	0	125
3	年	47 (36.7)	34 (26.6)	30 (23.4)	10 (7.8)	7	128
全	体	190 (48.0)	114 (29.8)	53 (13.4)	25 (6.3)	14	396

問 16. 問15でア, イ (練習不足をみとめる人) とした人へ練習不足の原因は何だと思うか (複数可)

		ア. 選曲のまずさ	イ. クラスの団結不足	ウ. 指導不足	エ. やる気のなさ	オ. その他	全 体
1	年	22 (18)	47 (39)	33 (28)	70 (58)	17 (14)	120人中
2	年	9 (9)	42 (41)	31 (30)	43 (42)	25 (24)	103人中
3	年	19 (23)	33 (41)	27 (33)	40 (43)	16 (20)	81人中
全	体	50 (16)	122 (40)	91 (30)	153 (50)	58 (19)	304人中

〔表のよみとり〕

この一連の質問は去年とくらべて今年はどうなったかを皆がどう感じているのかをみるためのものである。特に音楽科や来ひんの先生に「今年は去年にくらべ練習不足であった」といわれたことを、どうみるかという点を調べるためである。

今年の傾向としてははっきりしているのは「振りつけをいれた曲が多かった」という事である。去年1曲だったが、今年は3曲、この他いわゆるコーラス形式でなかったものが1曲(3-4)あった。それなのに、問14イ「振りつけをいれた曲が多かった」とした人が50%台であり、これは全体としてはコーラス曲がかなりあった事や、「多い」と感じる程度ほどの抵抗はうけなかった人が多かった事を示していると思う。それに対し「ショー的である」「新しい傾向の選曲がふえた」という今年の傾向に対し、その是非を別にしてその傾向を確認した人は多く(特に2・3年生は「ショー的」に63%「新傾向の選曲の増加」に56%同意している。「新傾向の選曲の増加」に対し1年は32%、2年は49%、3年は63%と学年により大きくちがいのあるのは1→3年とすすむにつれ「振りつけ入り」の「新しい傾向の選曲」がふえていることと関係するだろう。「振りつけ入り」がよいと思った人が3年に多く、彼らがその傾向を自ら肯定したためであろう。

次に最も大きな問題としてあげられる「練習不足」。これに対しては問14ア, 問15を参照すると問14アでは49%、問15では78%の人がこれを認めている。その原因としては「クラスの団結の不足」「みなの中のやる気のなさ」をあげたものが多く、それに加え「指導不足」「はじめるのがおそかった」ことがあげられる。これをみると、1→3年にすすむにつれ「練習不足」について否定的にみる人数がふえていることがわかるが、これは問7~13でわかるように3年生の各クラスが練習にかなり意欲的にとりくんでいることが大きく関係すると思う。



4. やめろ節について

1年生, 2年生がやめろ節をどうみたか

問 17. やめろ節はやってもよいと思うか

		ア. 今の形のまま やってもよい	イ. 音実を通した 形でならよい	ウ. やめろ	無 回 答
1	年	67 (46.9)	46 (32.2)	25 (17.3)	5
2	年	48 (38.9)	42 (33.6)	24 (19.2)	11
1	・ 2 年	115 (42.9)	88 (32.8)	49 (18.3)	16

問 18. 音実, 学校側警告を無視して強行したのは

		ア. 反 対	イ. 痛快である	ウ. やむを得ない	無 回 答
1	年	57 (39.9)	42 (29.4)	33 (23.1)	11
2	年	38 (30.4)	33 (26.4)	46 (36.8)	8
1	・ 2 年	95 (35.4)	75 (28.0)	79 (29.5)	19

問 19.

ア. 「やめろ節は内容が下品であるからよくない」という意見に対する同意者数

1 年 143人中 13人 (9.1%)

2 年 125人中 10人 (8.0%)

1・2年計 268人中 23人 (8.6%)

イ. 「やめろ節は日常のうさばらしにすぎない」という意見に対する同意者数

1 年 143人中 30人 (21.0%)

2 年 125人中 38人 (30.4%)

1・2年計 268人中 68人 (25.4%)

ウ. 「やめろ節は惰性でやっているにすぎない」という意見に対する同意者数

1 年 143人中 63人 (44.1%)

2 年 125人中 50人 (40.0%)

1・2年計 268人中 113人 (42.2%)

エ. 「やめろ節はそのやり方がすこし無責任である」という意見に対する同意者数

1 年 143人中 55人 (38.5%)

2 年 125人中 48人 (38.4%)

1・2年計 268人中 103人 (38.4%)

問 20. やめろ節の出現を期待していたか

		ア. は い	イ. い い え	無 回 答
1	年	72 (50.3)	52 (36.3)	19
2	年	97 (77.2)	18 (14.4)	10
1	・ 2 年 計	169 (63.1)	70 (26.1)	29

問 21. (問20でやめろ節の出現を期待していたと答えた人へ) その理由は(複数可)

		ア. 前ですわぐのがおもしろい	イ. 先生の悪口がおもしろい	ウ. 例年やるから	全 体
1	年	36 (50)	37 (51)	26 (36)	72人中
2	年	46 (47)	36 (37)	52 (54)	97人中
1・2	年 計	82 (48.5)	73 (45.0)	78 (46.2)	169人中

問 22. 高3になったらやめろ節に類することをやりたいか

		ア. ぜひやりたい	イ. 絶対やりたくない	ウ. みんながやればやる	無 回 答
1	年	56 (39.2)	47 (32.9)	20 (14.0)	20
2	年	52 (41.6)	33 (26.4)	26 (20.8)	14
1・2	年 計	108 (40.3)	80 (30.0)	46 (17.2)	34

〔表のよみとり〕

やめろ節についてやってもよいと考える人が75%をしめるが、そのうち%の人はやめろ節はやってもいいが、それは正式の手续をふんだ上でやるべきで、「学校側の警告を無視して強行したのに反対」という人である。

次にやめろ節をどうみるかについて「内容が下品」ということはあまり問題でなく、その無責任性、「去年もやったから今年も」という動機の単純さを指摘する人がかなりいる。2年になると今の形でのやめろ節に対する批判者がふえたかわり、「強行」をやむを得ないとする人がふえ、その出現を期待する人が急増する。その理由に「例年やるから今年もやるだろう」とした人が2年では急にふえており、みる側にも無責任性、動機の単純化がすすんでいるようだ。つまり批判は感じながらも「しかたない」「例年やっているから」という人が学年進行につれふえているのである。

☆ 問23~24の3年生の解答は、サンプルが少なすぎるので発表しません。

## II 音楽祭のあるべき姿について ( ) 内有効回答に対する百分率

### 1. 音楽祭の意義

問 25. あなたは音楽祭に何を求めるか

		ア. 「祭」としての楽しさ	イ. 「行事」としての成果	ウ. 「祭」「行事」両者	エ. 息ぬき	オ. な し	無 回 答
1	年	20 (14.0)	40 (28.0)	52 (36.4)	13 (9.1)	2 (1.4)	16
2	年	35 (28.0)	14 (11.2)	51 (40.8)	11 (8.8)	8 (6.4)	6
3	年	43 (33.6)	12 (9.4)	52 (40.6)	7 (5.5)	7 (5.5)	7
全	体	98 (24.7)	66 (16.7)	155 (39.1)	31 (7.8)	17 (4.3)	29

問 26. 音楽祭祭は単なる「祭」だけではなく、ある目的をもって行なわれるべきであるとして、その目的は何であると思うか(複数可)

		ア. クラスの団結	イ. 芸術性の追及	ウ. 練習の発表	エ. そ の 他	全 体
1	年	61 (42.7)	39 (27.3)	33 (23.0)	12 (8.3)	143人中
2	年	56 (44.8)	38 (30.4)	38 (30.4)	16 (12.8)	125人中
3	年	49 (38.2)	40 (31.3)	32 (25.0)	17 (13.3)	128人中
全	体	166 (41.9)	117 (29.5)	103 (26.0)	45 (11.4)	396人中

問 27. 音楽祭はその中心を H. R. における練習においているが、練習を十分にしていけることが H. R. のまとまりをつくりあげる上で必要だと思うか

		ア. 必 要	イ. 不 要	ウ. どちらともいえない	無 回 答
1	年	76 (53.1)	20 (14.0)	36 (25.2)	11
2	年	63 (50.4)	17 (13.6)	31 (24.8)	14
3	年	72 (56.3)	21 (16.4)	30 (23.4)	5
全	体	211 (53.3)	58 (14.6)	97 (24.5)	30

〔表のよみとり〕

音楽祭に対して何を求めるかに関しては、一番多かったのは「祭として楽しいものであると同時に、行事として何か成果のあるものであってほしい」という答の人である。「祭」としてのたのしきの方に重点をおく人が「行事」としての成果に重点をおく人よりやや多いのがわかるが、1年生においては前者が後者の半分であるのに対し、2年では逆に前者は後者の2.5倍、3年では3.5倍となっている。つまり学年進行につれ「行事」としての成果より「祭」としての楽しさを重視する人がふえている。

行事は楽しさ以外に「行事」として行なう以上、学校生活に対し何らかの成果を与えるものでなければならぬが、次に会員が何を行事の目的と考えているかを調べた問26をみよ。これによると、やはりH・R単位で行なわれている音楽祭においては、クラスの団結を重要視する人が多い。しかし、芸術性の追求を重要視する人も30%いる。3年では「クラスの団結」を重要視する人がややへって、「芸術性の追及」を重要視する人がややふえている。

最後に音楽祭では毎朝練習することが本番での勝利にもつながるだけでなく、クラスの中の結びつきをつよめるために大きく役立っていると考えられるが、これを支持する人を調べた。53%の人が支持した。しかも支持率は3年が最も高い。

## 2. 音楽祭の形態

問 28. あなたはどのような音楽祭の形態をのぞむか

		ア. 合 唱 の み	イ. ふりつけをいれてもよいが合唱中心	ウ. 合唱にこだわらない	無 回 答
1	年	40 (28.0)	48 (33.6)	44 (30.8)	9
2	年	17 (13.6)	53 (42.4)	50 (40.0)	5
3	年	15 (11.7)	47 (36.7)	60 (46.9)	5
全	体	72 (18.2)	148 (37.4)	154 (38.9)	19

問 29. 合唱コンクールの現状に問題はあると思うか

		ア. 問題ある	イ. 問題なし	無 回 答
1	年	51 (35.7)	62 (43.4)	30
2	年	58 (46.4)	52 (41.6)	17
3	年	77 (60.2)	34 (26.6)	15
全	体	186 (47.0)	148 (37.4)	62

問 30. 合唱コンクール（合唱中心—ふりつけ・伴奏は協役）はクラスの団結を強める上で最適か

		ア. 合唱が最適	イ. 合唱だけがよいとは思わない	ウ. 合唱は不適	無回答
1	年	60 (42.0)	61 (42.7)	7 (4.9)	15
2	年	30 (24.0)	66 (52.8)	11 (8.8)	18
3	年	27 (21.1)	78 (60.9)	11 (8.5)	12
全	体	117 (29.5)	205 (51.8)	29 (7.3)	45

問 31. 音楽祭を合唱コンクール以外の形でやりたいか

		ア. やりたい	イ. 今のままでしばらくつづけよ	無回答
1	年	34 (23.8)	96 (67.1)	13
2	年	45 (36.0)	65 (52.0)	15
3	年	39 (31.2)	71 (55.5)	18
全	体	118 (29.8)	232 (58.6)	46

〔表のよみとり〕

全体的にみて、合唱中心派が最も大きいのが、合唱そのものが最適と考える人は少ない。しかし合唱コンクール以外の形でやりたいというものは少ない。

それに対して、合唱コンクールに対する賛否は別にして、現状について問題を感じるものが半数いる。その内容を記述してもらったが、その中で重要と思われたり、支持者の多いものをあげてみると、

- 「惰性ででた人・クラスがある」＝「熱意が不足」 ①
- 「うけようとしすぎる。そうでない楽しさを求めないとしらせる」 ①
- 「音楽科の指導がたりない」（支持者多数） ③
- 「ふりつけが合唱に先行する」 ②
- 「審査に問題がある」（支持者多数） ③
- 「合唱のみにしぼるのは音楽性上問題がある」 ②
- 「形にはまりすぎてたいくつ。少しかわった事もやってもよい」 ②
- 「コンクールに重点をおかず音楽祭そのものに目的をもたせよ」 ①
- 「選曲に主張がなくふざけている通がある」 ①
- 「合唱だけではクラス全体がもりあがらない」 ②
- 「内容が生徒の認識とずれている」＝「改善せよ」 ②
- 「合唱コンクールにてっするべきである」（1年生に多い） ②
- 「音楽科にクラシックに対するかたよりがある」（支持者多数） ③

以上を分類し、①行事の性格、近年の文化祭などにみられる「なんとなくたのしければよい」という風潮に問題を求める者。②合唱コンクールの内容、形態に問題を求めるもの。③審査・指導不足など比較的、外因に問題を求めているものの者がある。

次に合唱コンクールがクラスの団結をたかめる上で最適かという設問についてその賛否の他に理由を聞いてもらった。

合唱が最適……「全員が平等に参加できる」「全員の協力が必要」「技術がいらす手軽」「練習が（他の形態にくらべ）ヤレばヤルほど上達しやすい」

合唱が最適だとは思わない……「声のよい人が中心になってしまう」「合奏などでも団結をたかめる上での効力は同じ」「合唱に限定することに問題があり団結をつよめることの方法はクラスによりいろいろあってもよい」「ふりつけをいれた方が容易に団結でき、もりあがる」

ここではし誤解があったようだが問30でいう「合唱」とはべつにふりつけを排除したものでなく、伴奏がエレキギターであるものもふくんでいる。ただしあくまで歌を中心としたものをいう。だから「ふりつけがはいってもよい」と考える人の一部は「合唱だけがよいとは思わない」につけたと思われるので、上のような意味での合唱がよいとする人は少しふえるだろう。

3. 振りつけ入のあるいはエレキギター伴奏のはいった合唱に対する是非

問 32. 合唱の中に振りつけやエレキギター伴奏をいれると合唱がおろそかになると思うか

		ア. 歌の方がおろそかになる	イ. 歌をねりあげていくことはできる	無 回 答
1	年	51 (35.7)	80 (55.9)	12
2	年	41 (32.8)	63 (50.4)	21
3	年	35 (27.3)	77 (60.2)	16
全	体	127 (32.1)	220 (55.6)	49

問 33.

ア. 「振りつけなどをいれると行事としての性格が頹廢し、単なる日頃のうっぶんばらしの場となる」という意見に対して

		賛 成	反 対	無 回 答
1	年	55 (38.5)	71 (49.7)	17
2	年	44 (35.2)	69 (55.2)	12
3	年	27 (21.1)	89 (69.5)	20
全	体	126 (31.8)	221 (55.8)	49

イ. 「振りつけ、エレキギター伴奏などをいれると、一部のそれらがすきな人が中心となるので全体の団結をたかめる上で好ましくない」という意見に対して

		賛 成	反 対	無 回 答
1	年	47 (32.9)	70 (49.0)	26
2	年	28 (22.4)	80 (64.0)	17
3	年	16 (12.5)	90 (70.3)	22
全	体	91 (23.0)	240 (60.6)	65

〔表のよみとり〕

合唱コンクールの形で音楽祭を行う場合、合唱とともに振りつけがはいったものや、一般に合唱曲ではないポピュラー系の選曲に対する意識を調べた。それによるとそれらがはいっても「歌をねりあげることができ」行事としての性格を頹廢にみちびくことはないと考えたものが56%、それに対し、ふりつけをいれると「歌の方がおろそかになり」行事を頹廢化させるとするものが32%、学年の進行につれ前者が急増することがわかる。問33イについては反対者がますます増えている。

4. その他の各論的問題

問 34. 来ひんによる審査はいるか

		ア. い	る	イ. いら	ない	無	回	答
1	年	103	(72.0)	27	(18.9)	13		
2	年	67	(53.6)	49	(39.2)	9		
3	年	57	(44.5)	52	(40.6)	19		
全	体	227	(57.3)	128	(32.3)	41		

問 35. 生徒による審査はいるか

		ア. い	る	イ. いら	ない	無	回	答
1	年	79	(55.2)	55	(38.5)	9		
2	年	94	(75.2)	25	(20.0)	6		
3	年	100	(78.1)	13	(10.2)	15		
全	体	273	(68.9)	93	(23.5)	30		

問 36. 会場はどこでやるか

		ア. ホ	ー	ル	イ. 学	校	無	回	答
1	年	116	(81.1)	10	(7.0)	17			
2	年	108	(86.4)	8	(6.4)	9			
3	年	108	(84.4)	5	(3.9)	15			
全	体	332	(83.8)	23	(5.8)	41			

問 37. 選曲方法はどうか

		ア. 自由	曲のみ	イ. 課題	曲設定	ウ. 自由	曲だがわ	くをつ	く	無	回	答
1	年	96	(67.1)	22	(15.4)	11	(7.7)	14				
2	年	98	(78.4)	7	(5.6)	9	(7.2)	11				
3	年	103	(80.5)	7	(5.5)	3	(2.3)	16				
全	体	297	(75.0)	36	(9.1)	23	(5.8)	41				

問 38. リストを教官が作成しその中から選曲するという学校側意見をどう思うか

		ア. 賛	成	イ. 反	対	無	回	答
1	年	20	(14.0)	107	(74.8)	16		
2	年	16	(12.8)	99	(79.2)	10		
3	年	8	(6.3)	102	(79.7)	18		
全	体	44	(11.1)	308	(77.8)	44		

〔表のよみとり〕

審査に関しては1→3年とすすむにつれ、来ひんによる審査を否定し、生徒審査を重視する傾向がわかる。全体として、両者ともいるという人が多いが生徒審査を重要視する人が多くなっている。

また会場、選曲については現状どおりのぞむ声がつよい。

#### § 4. 生徒部のアンケート調査

生徒自治会のアンケート結果は、我が校の生徒の音楽祭に対する意識を浮き彫りにしてくれた。これを受けて、特に問題と考えられる点について確認する意味で、設問の形式を変え、さらに、なぜそう考えるのかという理由を尋ねる必要性を感じ、生徒部で次に示すような調査を実施した。その結果について分析してみよう。

##### 音楽祭についての調査

1977.10. 生徒部 No. 1

本年の音楽祭は、昨年までと傾向が非常にちがっていました。これについて、高校自治会でアンケート調査を行い、その結果について詳細に分析され、その資料がすでに配布されています。それをもとにしたがって、さらに必要だと思われる点、及び昭和53年12月に実施される統一テストの影響などの点についての意見をまとめてみたいと思いますので、よろしく協力して下さい。

※ 質問に対する答えはすべて別紙になっている記入用紙の記号番号に○をつけ、文章での答えは簡明にして下さい。

なお〔5〕～〔8〕の理由については、○をつけるのは2つ以下にして下さい。

〔1〕音楽祭の実施時期と持ち方について（統一テストとの関連を考える）

- A：従来と同じ音楽祭を一学期、文化祭を2学期に行う
- B：一学期に文化祭、音楽祭をそれぞれ別に行う
- C：一学期に文化祭、音楽祭をいっしょにして学園祭の形で行う
- D：一学期に文化祭、二学期に音楽祭を行う
- E：その他→別紙

〔結果〕

番号・記号	学年	1		2		3		全		教 官	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
〔1〕	A	73人	55%	50人	34%	114人	72%	237人	54%	15人	40%
	B	20	15	40	27	16	10	76	17	3	8
	C	17	13	17	12	11	7	45	10	8	22
	D	12	9	25	17	12	8	49	11	3	8
	E	11	8	14	10	6	3	31	8	8	22
	計	133人		146人		159人		438人		37人	

これは学校行事の再編成を考える資料を必要としているので、まずそれをきいてみた。

Aについては最も関係の深い2年生の落ち込みがみられるが全体としてはこれを支持する者が多い。教官についても同じ傾向がみられるが文化祭の時期については少し早める必要があると思われる。

なおE：その他に示された意見を記してみよう。

〔生徒〕

- ① 音楽祭 1 学期 文化祭 2 学期早め (9 人)
- 2 〃 なし 〃 〃 1 学期 (8 人)
- 3 〃 〃 〃 〃 〃 2 学期 (6 人)
- ④ 学園祭として 2 学期に (2 人)

〔教官〕

- ① 音楽祭・体育祭 1 学期、文化祭は 2 学期早め (2 人)
- 2 文化祭は 9 月中に (2 人)
- 3 53 年度中止 (2 人)
- ④ 9 月下旬に学園祭 (3 日間) として (2 人)
- 5 体育祭・文化祭同時に 10 月頃実施
- 6 体育祭 1 学期・学園祭を 10 月上旬に

①、④は両者に出ている意見であり、学園祭という形も考えられている。また④は文化祭は学期早めということだが、これは A に入れてもよいと思われる。

〔2〕音楽祭の目的について

昭和46年度に

- 個人の歌唱力とクラスの合唱力の強化
- クラスの連帯意識の向上

の 2 点が確認されています。これについてどのように考えますか。なお、B：反対に○をつけた方は理由を簡単に記して下さい。

A：賛成

B：反対

理由 別紙

これは生徒自治会アンケートの問 25、26 に関係して昭和 46 年に確認した目標についての意識をみたいと思ったわけである。B：反対に○をつけたものについては、その理由を聞いてみた。その結果は次の通りである。

番号・記号	学年		1		2		3		全		教 官	
	A	B	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
〔2〕	A		114人	84%	98人	70%	122人	77%	334人	77%	37人	100%
	B		21	16	43	30	36	23	100	23	0	0
	計		135人		141人		158人		434人		37人	

生徒の 80% 近くがこの目的を認めており、教官は全員がこれを支持している。しかし生徒の約 1/4 が反対の意志を表示している。これについてどのような理由が示されているかを次に示してみる。

- 1. 歌唱力・合唱力の強化は無意味 (15 人)
- 2. 連帯意識の向上だけで可 (8 人)



3. とにかく楽しければよい (8人)  
 4. 音楽祭は合唱祭ではない (3人)  
 5. 歌唱力・合唱力の強化は不可能 (2人)

これをみると1, 5は技能(歌唱)の向上は無理と考え、2も裏を返せば、それに近い意味になると考えてよい。また3, 4は、お祭的な要素を強く感じ、表現の自由を求めているものと考えられる。

〔3〕音楽祭の実施形式についてどのようにしたらよいと思いますか。

- A: 合唱コンクールのみ  
 B:            〳          と特別演奏(現在の形式)  
 C: 専門家の演奏を聴く  
 D: その他→別紙

これは生徒自治会アンケート問28, 29, 31に関連しての設問で、もともと合唱コンクールの形で出発した音楽祭に対して、どのような実施形式を望んでいるかを調査したかったものである。自治会アンケートでは、合唱のみの支持者は少く、現状を肯定する者が多い。それを認識しながら、再び生徒の考え方を捉えようとしたものである。

〔結果〕

番号・学年	記号	1		2		3		全		教 官	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
〔3〕	A	17人	12%	7人	5%	9人	6%	33人	7%	15人	42%
	B	96	67	92	64	115	71	303	68	12	33
	C	18	13	13	9	10	6	41	9	2	6
	D	12	8	31	22	28	17	71	16	7	19
	計	143人		143人		164人		448人		36人	

予想されたように、Aの支持率は7%であり、現状支持者は70%近い。これにくらべて教官の方は、Aの支持率がBの支持率を上まわっている点に注意したい。ここに生徒と教官の意識のちがいをみることができる。そしてこのちがいが、エレキギターなど電子楽器の使用や、アクションについての考え方に結びついていっているようである。なおDのその他の意見の目ぼしいものを掲げてみよう。

〔生徒〕

1. クラス単位で表現の自由なコンクール (12人)  
 ② 合唱コンクールと特別演奏と専門家の演奏を聴く (10人)  
 3. 特別演奏を増やす (6人)  
 4. 自由参加 (2人)

〔教官〕

- ① 合唱コンクールと専門家の演奏を聴く (4人)  
 2. 特別演奏は音楽部、関係クラブのみ (3人)

3. 特別演奏は文化祭で (2人)

生徒の②と教官の①とでは少しニュアンスがちがうが、やや共通した点があり、それは専門家の演奏を聴くということである。ただしこれは、視聴覚関係の学校行事として取り上げてよいものと思われる。

なお特別演奏については、生徒はその強化を考え、教官はこれを支持せず、文化祭でという考え方に傾いている。

〔4〕音楽祭当日、どのような期待をもって参加しますか

- A：演奏し、聴くことによって音楽に対する技能や関心を深める
- B：お祭りだからとにかく自分が楽しければよい
- C：音楽に対する技能や関心を深めるとともに適当に楽しくやりたい
- D：その他→別紙

この設問は問25、問26に示された結果を確めるためのものである。つまり、音楽祭とは言いながら、`音楽、`に主力を置くのか、`お祭、`に力点を置くのかを確めたかったのである。結果を次に示そう。

学年 番号・記号		1		2		3		全		教 官	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
〔4〕	A	26人	18%	17人	12%	16人	10%	59人	13%	22人	67%
	B	24	17	43	31	38	24	105	24	0	0
	C	86	60	65	46	83	52	234	53	10	30
	D	8	5	16	11	22	14	46	10	1	3
計		144人		141人		159人		444人		33人	

これは自治会アンケートの結果をそのまま反映していると考えてよい。`音楽、`と`お祭、`をいっしょにした行事として考える者が、50%以上に達している。ただ教官の意識としては、 $\frac{2}{3}$ が`音楽性の追求、`を指向しており、生徒と対象的な様相を示している。この点のずれは今後充分話しあって、学校行事の円滑な運営を期する事が必要だと思われる。

ここでその他のDの意見を記してみる。

〔生徒〕

- 1. みんなで楽しみたい (5人)
- 2. 入賞することを期待 (4人)
- ③ クラスの連帯を得たい (3人)
- 4. 歌う喜びを期待する (2人)

〔教官〕

- ① 緊張間と連帯・協力の美しさを期待 (2人)
- 2. 開く態度や運営の円滑
- 3. 成果を楽しく聞き、生徒のあり方を考える
- 4. 練習状態からみて期待薄

上の③と①とでは共通の意識と言えよう。また生徒の1は、Bの理由とはすこしニュアンスのちがいがあり、自分だけが楽しければというのではなく、みんなで楽しむという点で、楽しむことを通して、そして音楽祭という共通の場に立って、連帯感をすこしでも味わえればという事にとってよいのではないかと思う。『入賞を期待する、という事もコンクールである以上、当然の事と言えるかも知れない。

〔5〕電子楽器（エレキギターなど）や、たる、バケツなどを伴奏につかうことについてどう考えますか。

A：賛成

〔理由〕ア：きいていて楽しい

イ：多くの音の組み合わせで合唱がひきたつ

ウ：最近の合唱曲にはそのようなものの伴奏が適している

エ：その他→別紙

B：反対

〔理由〕ア：きいていて騒々しい

イ：伴奏のために合唱そのものがはっきりしなくなる

ウ：合唱は人の声の美しさをきくのだからせいぜいピアノ伴奏ぐらいがよい

エ：その他→別紙

合唱コンクールである以上、人間の声そのものの美しさ、そのハーモニーのみごとさを主にすると我々は考えるのだが、新しい傾向の曲を歌おうとすると登場してくるのが、電子楽器などである。これについては問32、問33のイに示されているように、『合唱はおろそかにならない。』『団結を高める事ができる。』と考えている者が半数以上に達している。そこでその理由としてどんな事を考えているかを確める事にした。

〔結果〕

学年 番号・記号	1		2		3		全		教 官		
	A	88人	68%	120人	86%	137人	86%	345人	81%	7人	19%
〔5〕	ア	31	30	58	44	64	37	153	38	1	17
	イ	34	33	18	14	39	22	91	22	1	17
	ウ	13	13	20	15	24	14	57	14	0	0
	エ	25	24	35	27	46	27	106	26	4	66
	計	103人		131人		173人		407人		6人	
	B	41人	32%	19人	14%	23人	14%	83人	19%	30人	81%
	ア	12	20	5	18	9	31	26	22	8	20
	イ	28	47	5	18	10	34	43	37	15	36
	ウ	14	23	7	25	7	24	28	24	13	32
	エ	6	10	11	39	3	11	20	17	5	8
計	60人		28人		29人		117人		41人		
A + B	129人		139人		160人		428人		37人		

ここでこれからの表の見方を説明しておく。A+Bの人数は、賛・否の意志表示をした者で計の欄の人数は、2個以下○をつける事ができる、としたので、その○の合計を示している。従って、A、Bの％は、A+Bを分母としたもの、ア～エの％は、〃計〃の人数を分母としたものである。

この結果からみると高学年に進むにつれて、賛成が多くなり、全体では80%ほどが、エレキギターやたる、バケツなどの使用を可としている。それに対して教官は80%ほどがこれを不可としている。賛成の理由の1位は、〃きいていて楽しい〃、2位は〃合唱がひきたつ〃、でやはり〃お祭り気分〃、を味わう気持ちが強いと思わねばなるまい。

ここで注目する点は1年で1/3が〃反対〃している事である。その理由としては〃合唱そのものがはっきりしなくなる〃、というのが1位になっている。これは合唱そのものと電子楽器などの音量、使い方などが充分にとけこんでいない事を指摘しているのではないだろうか。

教官の〃反対〃の理由は、イ、ウの合計が約70%近くを占めている。やはりこれらの楽器の利用の未熟さを感じているのだろうか。

つぎにAのエ、Bのエ、つまりその他の意見の主なものを挙げてみよう。

〔生徒〕

(A)

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1. 曲に適していれば可     | (27人) |
| 2. 度を越さねば可       | (10人) |
| 3. 決定はクラスの自由     | (6人)  |
| 4. 独創性があるよ       | (5人)  |
| 5. 音楽性を高める       | (5人)  |
| 6. バリエティに富む演奏になる | (3人)  |
| 7. 合唱コンクールのみではない | (2人)  |
| 8. 楽器に対する偏見をすてよ  | (2人)  |

上の3は音楽そのものに対してではなく、〃決定の自由〃を強調しており、7は会の持ち方に対する批判、8は楽器はピアノだけではない、という主張である。他はとに角音楽性を高める事ができるし、その程度を考えよという事になると思われる。

(B)

- |                |      |
|----------------|------|
| 1. 合唱効果は高められない | (3人) |
| 2. 故障が心配       |      |
| 3. うるさい        |      |

といった程度のもので出ているが、1はAの主張に全く反対の立場である。

〔教官〕

(A)

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. 選曲によっては合唱がひきたつ |  |
|-------------------|--|

2. 音量をしぼれば可

(B)

1. 中学はピアノ，高校は無伴奏

2. 限界をきめにくいのでピアノのみ

3. 効果的使用がむずかしい

などがそれぞれ1人ずつあった。

つまり，賛成する意見でも，編曲の可否，度を越さない適度の使用を考え，反対する者もその点についてうまくいかないのではないかと考えている。

これは，演奏する者と聴く者の感覚のちがいがから出てくるものかも知れないと思われる。

[6] 振りつけ (アクション) を入れることについてどう考えますか。

A: 賛成

[理由]

ア: 見ていて楽しい

イ: 合唱と一体になってより効果的な演出ができる

ウ: 生徒がやりたい事をやらせれば音楽祭が盛り上がる

エ: その他→別紙

B: 反対

[理由]

ア: 見ていても落ちつかない

イ: 注意がそちらに向いて合唱そのものを味わえない

ウ: アクションの練習時間を合唱に使う方がよい合唱ができる

エ: その他→別紙

これも問32，問33のア，イに関係したもので生徒の56%がこれを肯定し，32%が否定的な考え方をもっている。そこで，その賛否の理由はどんなものがあるのかを探ってみることにした。最近ではテレビ，つまり視覚に訴えるという要素が強くなり，歌を聴くというよりも「見る」という要素が強くなり，アクションや服装などにもその効果を狙うものが増えてきた。そのような社会的背景を考え乍ら設問を作った。

[結果]

記号・番号	学年		1		2		3		全		教 官	
A	88人	67%	118人	85%	133人	85%	339人	80%	4人	11%		
ア	29	28	56	40	65	34	150	35	1	33		
イ	39	38	37	26	58	31	134	31	1	33		
ウ	24	23	32	23	43	23	99	23	0	0		
エ	11	11	16	11	23	12	50	11	1	33		
[6] 計	103人		141人		189人		433人		3人			

B	43人	33%	21人	15%	23人	15%	87人	20%	33人	89%
ア	10	18	8	34	3	14	21	21	6	14
イ	14	25	8	34	3	14	25	25	16	37
ウ	20	36	3	15	5	23	28	28	15	35
エ	12	21	4	17	11	49	27	27	6	14
計	56人		23人		22人		101人		43人	
A + B	131人		139人		156人		426人		37人	

賛成は高学年になるにつれて多くなり、全体としては80%に達している。これは自治会アンケートの結果を上廻っている。理由としては見ていて楽しいが2、3年では1位だが、1年では効果的な演出ができる、と考えているものが多い。そして全体としてはこの2つが2/3を占めている。

教官の賛成はざっと10%で、反対は90%に達し、生徒の考えと対称的になっている。教官の反対の理由は、生徒のそれと大体同じ傾向にあり「合唱に時間を使う方がよい」、「合唱が味わえない」というものが多い。ここで注目すべきは1年では1/3の生徒に反対がいるという事である。

Aのエ、Bのエの者の意見を次に示そう。

[生徒]

(A)

1. 合唱効果を高める程度のものは可 (24人)
2. 視覚的なものも必要 (4人)
3. 自己表現の手段として必要 (3人)

(B)

1. 合唱がいい加減になる (10人)
2. ひどいのは見苦しい (4人)
3. 合唱には不必要 (3人)

[教官]

(A)

1. 合唱と一体的なものは認めたい
2. 控え目なら認める

(B)

1. 合唱では振りつけはじゃま (3人)
2. アクション主体になりがち (2人)
3. 格調高くあまり現代化は不可 (2人)

両者ともAについては、Aのイに入れて考えてもよいもので、Bについては合唱を肯定しての発言で、どちらかといえば、合唱がうすれてしまうという心配をしていると思われる。

[7] ヤメロ節、を一部の人が歌うことについてどう考えますか。

A：賛成

〔理由〕

ア：お祭りだから歌う者も聞く者も楽しんでよい

イ：音・実を通しプログラムに組めば器物をこわしたり時間を長びかせたりして会館に迷惑をかけたりはしない

ウ：3年生にこの程度のウッポン晴らしは必要だ

エ：その他→別紙

B：反対

〔理由〕

ア：音楽祭ではやめて、文化祭の中夜祭などでやるならやった方がよい

イ：器物をこわしたり時間を長びかせて会館に迷惑をかけ、また父兄をつきとばしたりして危険である

ウ：「プログラムにのっていないものは出演を認めない」というルールを守るべきだ

エ：その他→別紙

これは問17～問22に関連した設問である。自治会アンケートでは相当細かく分析してその内容把握につとめているが、ここでは総括的にヤメロ節に対する生徒の意識をつかみたいと思った。

〔結果〕

番号・記号	学年		1		2		3		全		教 官	
〔7〕	A	74人	57%	99人	71%	120人	76%	293人	68%	8人	22%	
	ア	26	29	39	35	55	37	120	34	2	29	
	イ	28	31	28	25	30	20	86	25	3	43	
	ウ	25	28	31	28	38	26	94	27	1	14	
	エ	10	12	14	12	26	17	50	14	1	14	
	計	89人		112人		149人		350人		7人		
	B	56人	43%	41人	29%	38人	24%	135人	32%	29人	78%	
	ア	22	30	16	35	6	12	44	26	11	27	
	イ	23	31	12	26	10	20	45	27	10	24	
	ウ	18	24	6	13	20	40	44	26	17	41	
エ	11	15	12	26	14	18	37	21	3	8		
計	74人		46人		50人		170人		41人			
A + B	130人		140人		158人		428人		37人			

賛成は学年とともに増しており、とくに1年と2年の間で断層がみられる。勿論反対者はこの逆になっており、全体としては $\frac{2}{3}$ が賛成、 $\frac{1}{3}$ が反対となり、教官の賛成 $\frac{1}{4}$ 、反対 $\frac{3}{4}$ と、逆の傾向を示している。

賛成の理由として、1年では「合法的に」という考えが1位を占めているのに対して、2、3年では「楽しむために」といった自己中心の考え方が1位を占めている。勿論2、3年でも合

法的にという考えは、それぞれ25%、20%を占めているが、`3年生にこの程度のウッペン晴らしは必要だ、とするものの28%、26%より少し下まわっている。

教官側の反対の理由の1位は`ルールを守るべき、であり、`文化祭で、`迷惑、`危険、がこれに次いでいる。これも教官と生徒という立場のちがいがにじみ出ていると考えてよいものと思われる。自己中心で楽しみ、ウッペン晴らしをすればというのに対し、決めたルールを守って、危険を防ぎ、他人に迷惑をかけないようにしたいと考えるのは教師として当然である。`その他、の意見を次に示そう。

〔生徒〕

1. すきな事やりたい事をして可 (5人)
2. 合法的にやる (4人)
3. 伝統は守るべきもの (4人)
4. 叛逆精神の発露 (3人)
5. 器具をこわさねば可 (2人)
6. 立派な音楽 (2人)

(B)

1. ばかばかしくつまらない (8人)
2. 内容に問題あり (5人)
3. やり方に問題あり (2人)

〔教官〕

(A)

1. 歌詞を吟味、文化祭で

(B)

1. 個人の人格に関わるものは不可 (2人)
2. 音楽祭全体の雰囲気をつぶらせる
3. お祭ならば可、ただし方法・場所を変更
4. 駒場音頭のようなものがほしい

〔8〕会場についてどう考えますか

※ 区民会館や公会堂を借りて会場にした目的は、合唱コンクールを行う事を前提とし音響効果がよく、また聴く方も一般の音楽祭に行ったときのマナーを養うためだったのです。もしエレキやアクションが入り、また聴く方から野次やテープがとんだりする事があたり前であるという事になると、上の目的とはちょっとずれてきます。さらに`ヤマロ節、がこのままの形で続けば、会館前に迷惑をかける事が生じ、駒場の信用を失うことにもなりかねません。

このごろのアクションやエレキの入った一般の演奏が、野外ステージや武道館などで行われている事も考えて、お答え下さい。



A：区民会館や公会堂

〔理由〕

ア：合唱コンクールが主体だからもとの目的にそっている

イ：マメロ節をやめるかプロに組めば、会館に迷惑はかけない

ウ：アクションやエレキが入っても音響効果のよい所がよい

エ：その他→別紙

B：学校の体育館

〔理由〕

ア：アクションやエレキが入れば音響効果はさほど考えなくてよい

イ：番外でマメロ節が入っても外部の人に迷惑をかけたり駒場の対外的信用を失うこともない

ウ：往復の時間や交通費、さらに会館使用の諸費用の節約になる

エ：その他→別紙

これは問36の理由を確かめたいための設問である。会場を世田谷区民会館（二度ほど目黒区公会堂使用）のホールにした理由は、※に示されている通りだが、最近のように音量の大きい電子楽器を使用したり、アクションが入ったり、あるいはホールに迷惑をかける事があったりするような状態になってきたので、会場設定の理由の根拠がすこし薄らいできたのではないかと考えられる。勿論本来の合唱コンクールを望むとすればこの考えは成り立たない。問36では80%以上がホールを望んでいる。

〔結果〕

番号・記号	学年		1		2		3		全		教 官	
〔8〕	A	112人	87%	119人	86%	144人	92%	375人	88%	24人	67%	
	ア	75	53	50	38	61	34	186	41	18	70	
	イ	24	17	23	18	24	13	71	16	6	23	
	ウ	29	21	40	31	61	34	130	29	0	0	
	エ	13	9	17	13	33	19	63	14	2	7	
	計	141人		130人		179人		450人		26人		
	B	17人	13%	20人	14%	13人	8%	50人	12%	12人	33%	
	ア	1	5	2	8	3	19	6	10	1	5	
	イ	6	32	8	30	4	25	18	30	4	24	
	ウ	9	47	14	54	6	37	29	48	9	53	
	エ	3	16	2	8	3	19	8	12	3	18	
計	19人		26人		16人		61人		17人			
A + B	129人		139人		157人		425人		36人			

自治会調査を上まわって88%がホールを希望し、その理由として、マメロ節が主体、エレキが入っても音響効果のよい所、となっている。教官も2/3がホールを望み、理由としては

第2に「ヤマロ節」をプロに組めばが入ってきている。この結果から考えれば会場はホールで行う事が、教官、生徒の希望に沿うわけだが、それには、少くとも今までホール側に対して迷惑をかけた事実、つまり、器具を破損した、時間が延びた、という2点については、それが再び起きないように対策を、教官、生徒ともども考えなければならないと思われる。

なおA、Bとも理由のE、つまり、「その他」に述べられた意見を示すと次のようになる。

〔生徒〕

(A)

1. 気分がもり上がる (20人)

1. 体育館では不可能 (6人)

(B)

1. 公会堂では制約が多い (2人)

2. 無用なまさつをさける (2人)

3. 本番と同じ場所で練習ができる

4. 学校行事は学校で

〔教官〕

(A)

1. 合唱と専門家演奏ならばホールで (2人)

2. 高水準を狙ってよい会場で

3. 目的にそえばホール、お祭騒ぎなら不必要

4. 将来は体育館で

(B)

1. エコーが技量の劣りをカバー

2. 学園祭ならば学内で、昨今の技量ではホールの必要なし

といったものがあつた。

其後に教官だけに、中と高と一体になっての現在の音楽祭に対する考えをお聞きしてみた。本校はその規模、施設の関係、さらに教育観(中高一貫)から、可能な限り学校行事も中高一体で行われている。この際、いろいろな点で音楽祭が、いまの形でよいかどうかを、確める意図でこの設問を用意した。なおこれには本年みられたアクション、エレキの進出といった現象が高校のみであり、それと中学生との関係をどう考えるかという事も確めたかったのである。

〔9〕中・高の関係及び会場の使い方について(先生方のみ)

A: 中・高合同で区民会館使用

B: / / 体育館使用

C: 中・高別で区民会館使用(同一日で中午前・高午後)

D: / / 体育館使用( / )

E: 中は区民会館、高は体育館使用

F：高は区民会館，中は体育館使用

〔理由〕

- ア：音響効果や設備のよい所で他の行事と同じく，中高一体がよい
- イ：『ヤマロ節』を止めれば中学生への影響や外部への迷惑は考えられない
- ウ：エレキやアクションが入れば体育館でもさし支えないし，中高いっしょに楽しめる
- エ：中は合唱コンクール本来の姿なので音響効果を考え，高は高だけで楽しむとよい
- オ：中と高では意識もちがうし，授業や費用の点からもこれがよい
- カ：収容力や他への影響からこれがよい
- キ：費用が少くスケジュールの組み方に無理がなく，会場への移動の際の危険もない
- ク：その他→別紙

〔結果〕

	A		B		C		D		E		F		計
	15人	42%	3人	8%	8人	22%	9人	25%	0人	0%	1人	3%	36人
〔9〕	ア		イ		ウ		エ		計				
	14人	37%	2人	5%	0人	0%	2人	5%	38人				
	オ		カ		キ		ク						
	3人	8%	4人	11%	9人	23%	4人	11%					

$\frac{2}{5}$ の教官が従来通りを支持し， $\frac{1}{4}$ の教官は，中・高別で体育館利用を支持している。これを裏づけるように理由としては，『ア』つまり『音響効果や設備のよい所で他の行事と同じく中高一体がよい』が $\frac{2}{5}$ を占めている。また，『キ』の『費用が少くスケジュールの組み方に無理がなく，会場への移動の際の危険もない』が約 $\frac{1}{4}$ になっている事もうなづける。

つぎにその他に書かれた意見を記す。

1. 現在の目的ならばAが最高…………… (A)
2. 中高分離は不可…………… (B)
3. 音響効果，時間，保護者席 } …………… (C)
4. 長時間なので別々に }
5. 風呂場のエコーと同様の効果あり } …………… (D)
6. あの程度ならどこでもよい }
7. 行事縮少の点で }

というようなものがあった。そしてA～Dはそれぞれ『中高の関係及び会場の使い方』の記号である。

## § 5. ま と め

以上の分析をもとにして、音楽祭について生徒がどのように意識しているかをまとめてみると次のようになる。

### 〔1〕音楽祭の実施時期

音楽祭を1学期、文化祭を2学期早めに行いたい。

### 〔2〕音楽祭の目的

- 個人の歌唱力とクラスの合唱力の強化
- クラスの連帯意識の向上

これについては約80%が認めている。

### 〔3〕音楽祭の実施形式

合唱コンクールと特別演奏、つまり今までと同じ形でよいと考えている。

### 〔4〕音楽祭に対する期待

約 $\frac{1}{2}$ が「音楽」と「お祭り」を考え、約 $\frac{1}{4}$ がお「祭り」を考えている。つまり生徒の $\frac{3}{4}$ が何らかの意味でお祭りの要素を求めていると考えてよい。それが〔5〕〔6〕〔7〕へと反映してくる。

### 〔5〕電子楽器を使う事の可否

80%が賛成、理由としては「聞いていて楽しい」、「多くの音の組み合わせで合唱が引き立つ」が1、2位を占めているが、前者は後者の約2倍、全体の回答の約40%を示している。ただここで1年では $\frac{2}{3}$ が賛成、 $\frac{1}{3}$ が反対と他の学年にくらべて、反対の比率が大きくなっている。そして理由としては「合唱そのものがはっきりしなくなる」という事を第1に挙げている点は注目に価する事である。

### 〔6〕振りつけ（アクション）について

賛成80%で〔5〕と同じ傾向を示している。「見ていて楽しい」、「より効果的な演出可能」という理由がを占めている。音そのものの美しさ、調和、つまり聴覚だけではなく、視覚に訴える楽しみ、それが総合的に効果を発揮するというように考えている。「ピンクレディ」などがもてはやされる時代の反映かも知れない。ここでも1年が〔5〕と全く同じ傾向を示している。つまり反対が $\frac{1}{3}$ に達しており、賛成にしても理由としては2、3年の2位になっているものが1位になっている。これは「音楽」というものを考える姿勢が3年よりも濃厚だと考えられる。

### 〔7〕「ヤマロ節」について

これについては〔5〕〔6〕の賛成者にくらべて約10%低くなっている。ここでも1年が2、3年にくらべて賛成者が少く（約10%ほど）ざっと $\frac{2}{5}$ が賛成している。ただ学年の進むにつれて賛成者が多くなっているため、来年も今の1年生がこの気持を維持するかどうかはちょっと不

明である。理由の第1は2, 3年が「お祭りだから、を挙げており、1年では、「合法的にやれ、」が第1位になり、ここにも1年と2, 3年の意識のずれがみられる。

いずれにしても全体としての賛成者が68%であり、その中の $\frac{1}{3}$ が「お祭りだから、という理由を挙げているので、もしこれを止める事を考えるとすれば「お祭り」ではないという事を前提とする必要があるのではないか。

#### 〔8〕会場について

ざっと90%がホールを希望し、これは学年による差はそれほど認められない。そして理由も「合唱コンクールが主体だから、が1位になっている。ただ学年が進むにつれて、「アクションやエレキが入っても音響効果のよい所がよい、という理由が多くなり、3年では前記の理由と同率になっている。これは本年のプログラムをみてもわかる通り、3年の $\frac{3}{4}$ が、アクション入りの演出を行っている事からも肯けることであろう。

以上を要約すれば「よい会場で、音楽性を追求する事は勿論だが、合唱にこだわらず、エレキも使い、アクションも入れ、「ヤメロ節、もお祭りだからやってもよいではないか、という事になりそうである。しかしこれは、目的として掲げたものの1つとはいささかくいちがっていると思わざるを得ない。勿論生徒としては、それでも目的は達成できると考えているわけなのであろう。

ところで教官と生徒との意識のちがいで、著しい相違を示したのは、それぞれの設問の結果の分析の所でも述べたが、ここでまとめてみると〔5〕〔6〕〔7〕にみられる。つまり、エレキ、アクション、「ヤメロ節、の3つについてである。これは〔2〕の目的、〔8〕の会場、についての結果からみて、教官は「合唱コンクール、が主体であると考えて会場もホールとしている立場の者が70%に及んでいる事から当然考えられる。世の中で行われている事、あるいは生徒の希望する事がそのままよい事であるという姿勢ではなく、であるからこそ学校ではという考え方が前面に出ているのではないだろうか。ただ学校行事を実際に行うのは、あくまでも生徒であるから、全く興味を示さず、いやがるものを無理にやらせるということでは、決してその目的は達成できるものではない。

したがって、教官の考えの音楽祭の姿、つまり「音楽性、を主としたものと、生徒の考える音楽祭の姿、つまり「お祭りのなもの、（生徒はその中に音楽性を認めているというけれど）をどのように調和させ、実効を挙げるかという事が考えられねばならない。

来年（53年度）の音楽祭の実施計画は少なくとも本年12月までには決定しなければならない。12月始めに予定されている生徒指導協議会では、この調査をもとにして、来年度の音楽祭をいかに行うかの討議を充分行っていきたいと思う。勿論それまでの間、生徒自治会を通じて、こちらの考え方について十分な討論をするつもりである。

終り